

番号	2-2-5	表題	処理性能と省エネルギー両立のためのステップ A ₂ O 法の処理条件	
内容	<p>ステップ A₂O 法では、A₂O 法等の他の処理方法と異なり、ステップ流入比や第一・第二好気槽の硝化量についても制御が必要となる。処理プロセスを考慮すると、これらは処理性や必要送風量に強く影響を与えると考えられるが、両者の関係は十分に明らかにされていない。</p> <p>当センターではこの点に関する調査を平成 24 年度から継続している。平成 25 年度以降の取組で、嫌気槽 BOD-SS 負荷とりんの除去性能との関係や、第一好気槽の硝化量と必要送風量との関係等が新たに明らかになった。これは、りんや窒素の処理性能を確保しつつ送風量を低減できることを示唆するもので、当処理方法は水質改善と省エネルギーの両立という観点から、非常に有効なものとなり得ると考える。</p>			
キーワード	ステップ A ₂ O 法 硝化量 必要送風量 水質改善 省エネルギー			
処理区名	北多摩二号処理区	位置区分	処理場 水再生センター 処理水 放流水	
職種区分	水質	施策区分	エネルギー 熱利用 維持管理向上	
状態区分	維持管理	新規性		
実施年度	平成 26 年度	全体期間	平成 24 年度～平成 26 年度	
担当部署	流域下水道本部 技術部 北多摩二号水再生センター 水質管理係			
発表履歴	局内	平成 26 年度 水質技術研究発表会		
	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報				